

Title	中小企業の情報インフラ構築について
Sub Title	
Author	児玉宗造(Kodama, Shiyuuzou) 河野, 宏和
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2000
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2000年度経営学 第1596号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002000-1596">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002000-1596</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	河野研究会	学籍番号	89928391	氏名	児玉 宗造
(論文題名)					
中小企業の情報インフラ構築について					
(内容の要旨)					
<p>日本経済のバブル崩壊後、我々の取り巻く環境が急速に変化してきている。これまでの人口増加による右肩上がりの経済成長から低成長期へ、国のさまざまな規制に守られてきた市場は、規制緩和に伴って海外からの強力な企業と競争など、今日の日本の経済は、企業にとってこれまでにない厳しい競争環境になっている。</p> <p>一方、科学技術の発達によって、パーソナルコンピュータの発達と普及、そのパーソナルコンピュータの発達によるインターネットという情報通信技術の登場により我々の生活に大きな利便性を今日もたらしている。この反面、情報伝達のスピード化により、これまでの企業の発想にない競争相手が出現したりして、企業間競争が激化することになっている。</p> <p>これまでの企業の資源として、ヒト・モノ・カネに、情報が新たに加わりその情報によって、スピード化が求められるようになってきている。したがって、我々の環境も急速に変化するスピードが加速することになり、この環境に対応すべく変化のスピードが、一層企業にとって必要になる。したがって、今後の企業にとって、情報活用が重要になり、その情報を活用するための情報インフラ整備もまた重要になって来ると思われる。</p> <p>今日のパソコンは、普及に伴い価格の低価格化となっているが、やはり中小企業にとっての投資負担は、まだまだ大きなものと言える。そこで、本研究においては、いかに情報インフラ整備としての情報システム導入の失敗のリスクを回避させる方法についてどうすれば良いかを、文献や事例の検証で導くこととした。</p> <p>I章では、何故多くの企業が何故情報システムを導入するのかの理由を探るため、今日の企業がどのような状況下におかれているか、社会の分析をすることから調査してみた。</p> <p>II章では、情報システム導入の問題意識と目的、III章では、情報システム構築のポイントとして書かれている文献調査研究のなまとめ。</p> <p>IV章では、実際の中小企業の事例調査研究を行う企業の紹介。</p> <p>V章では、事例対象研究企業に対してインタビューとアンケートによる問題抽出についてまとめてみた。</p> <p>VI章では、これまでの情報システム導入調査や分析から分かったことのまとめ、最終章のVII章では、提言としてのまとめと、今後導入しようとする企業に対してのポイントと、今後第2期構築を行っている事例研究をおこなった企業に対しての研究から導き出したポイントの検証と将来への提言を行っている。</p>					